



この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



みずづさんのやさしいまなざし

～みんなちがって、みんないい～

金子みすゞ記念館 館長 矢崎節夫 氏

第35回 益田市社会福祉大会 開催

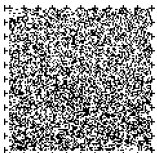
11月30日（木）、グラントワ小ホールにおいて『第35回 益田市社会福祉大会』を開催し、益田市長をはじめとするご来賓、福祉関係者や市民の皆様など、約250名の方がご出席されました。

式典では、福祉活動の功績顕著な方々に対し、未成会長から表彰状及び感謝状を贈呈しました。式典後の講演では、金子みすゞ記念館 館長 矢崎節夫 氏を講師に招き、「みずづさんのやさしいまなざし～みんなちがって、みんないい～」と題してお話しいただきました。

みずづさんのまなざしは、私が私であるためには、あなたという存在がなくては成り立たない。だから『私とあなた』ではなく、『あなたと私』。『私』からの目線ばかりでなく、『あなた』の目線からも物事を捉え考えることの大切さ等、心に響く素敵なお話をしていただきました。

最後に、地域福祉の推進に邁進することを誓って、大会宣言決議を行いました。

少年の主張益田市大会で優秀な成績を取めた3名の生徒さんによる力強い発表が行われました。



益田中学校3年 上田幸花さん
「共に生きるということ」



西南中学校3年 豊田麻桜さん
「多くの足音」



真砂中学校3年 瀧谷瑠音さん
「かくれんぼ」

福祉のまちづくりに向け参画と協力を



益田市長 山本浩章

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成三十年の新春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれましては、福祉活動における中核組織として、「人とのつながり」「地域とのつながり」を深めていくため、多くの団体の参加と協働のもとに、地区社会福祉協議会活動、ボランティア活動、福祉教育、高齢者・子育てサロン活動など、地域福祉活動を展開されていることに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

現在、国が進めております「地域共生社会の実現」に向けては、地域づくりの取り組みへの支援と、公的な福祉サービスへの繋がりを含めた「我が事」「丸ごと」の総合支援の体制整備が重要となっております。市と致しましては、「第三期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定と推進により、誰もが安心して自立した日常生活を送ることができるよう、福祉のまちづくりを目指して参りたいと考えております。

また、安心して暮らせるよう地域福祉を充実させていくためには、市民の皆様の積極的な参画と協力が欠かせません。

市は今年も、福祉関係機関との一層の連携を図り、各種福祉施策を展開してまいる所存でありますので、市民の皆様の温かいご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、平成三十年が、市民の皆様にとって、幸多き年となりますよう、心よりご祈念を申し上げます、年頭のごあいさつと致します。

声なき声に耳傾け



益田市社会福祉協議会
会長 末成弘明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当会の事業運営に温かいご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

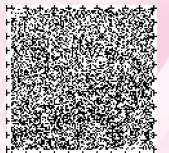
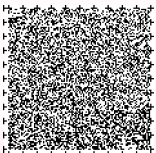
さて今日、私たちを取り巻く状況は、少子高齢化や、人口減少、核家族化が進んだことでひとり暮らしの高齢者世帯や、ひとり親世帯が急増しています。若者が少なくなつたこの地方では老老介護の世帯が珍しくありません。働く人の4割以上が非正規雇用という時代でもあります。失業や病気になる、たちまち経済的困窮に陥りかねない不安定な社会状況でもあります。

こうした社会状況は貧困の拡大につながり、日本の子供の6人に1人が貧困にあえいでいます。貧困は一代限りで終わらず、親から子へ、子から孫へと連鎖し、これが原因で「いじめ」「不登校」「家族暴力」など深刻な事態につながるケースも多々見られます。また、周囲の誰とも接触を持たず、社会の片隅で忘れられた「ひとりぼっち」の方もいらっしゃいます。貧しさや孤独から「暮らしにくさ」を抱えながらも、どうやって助けを求め、どこに相談すればよいか分からない「声なき声」にみんなで耳を傾け、援助の手を差し延べてまいりましょう。

益田市社会福祉協議会では、その手だてとして「生活困窮者自立相談支援事業」や「日常生活自立支援事業」、日々の食に困る人を手助けする「フードバンク事業」、社会的弱者の方の権利を擁護する「市民後見人制度」など諸事情を行政や、関連団体と連携しながら進めています。近年力を入れている「支え合いマップづくり」は、見守り、助け合いのご近所福祉はもとより、いざという時の災害対策や「声なき声」の発見にも大きな威力を発揮します。

また、障がいの有無や老若男女、出自、貧富、国籍、宗教などいかなる違いがあろうと決して差別があつてはなりません。

今年も市民みんなで力を合わせて地域福祉を推進していきましよう。



第35回 益田市社会福祉大会表彰状及び感謝状受賞者

おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りいたします。

【表彰】

(敬称略・順不同)

《民生委員・児童委員でその功績が顕著》

世良 孝 (飯田町)

《社会福祉施設、地区社会福祉協議会・団体等の役員でその功績が顕著》

吉村 正夫 (乙吉町)

《社会福祉事業における永年勤続功労》

柳井 教子 (乙吉町)

福原 倫世 (中島町)

渡辺 理絵 (遠田町)

塩安 恵美 (高津四丁目)

永田 久恵 (久城町)

田中 清美 (下本郷町)

竹内 幸 (戸田町)

城市 清美 (白上町)

新田 香 (浜田市三隅町岡見)

塩満 結花 (美都町都茂)

土佐 誠志 (美都町山本)

野上 由美子 (浜田市三隅町岡見)

長谷田 宣子 (大谷町)

岡田 照美 (三宅町)

土井 百合美 (匹見町道川)

【感謝】

女性なんでも相談 リング・ベルの会

丸茂一心

はまよりしあわせサロン

横野さつき会

宮田げんき会

広瀬元気でいよう会

藤井 亨 (大谷町)



永年に亘り保育施設園長及び保育士として児童福祉の推進に貢献

渡辺 理絵 さん



永年に亘り女性の権利を守る相談活動等を進め地域福祉の向上に貢献

女性なんでも相談 リング・ベルの会

益田市ボランティア連絡会 講演会のご案内

参加費
無料

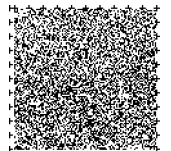
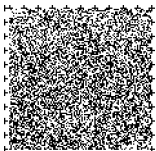
1月25日(木) 13:30～15:00 会場: 益田市総合福祉センター (大集会室)

講師: 松本医院 院長 松本祐二 先生

松本先生を講師に迎え、『健康』についての講演会を開催いたします。
是非ご参加ください。

お申込
お問合せ

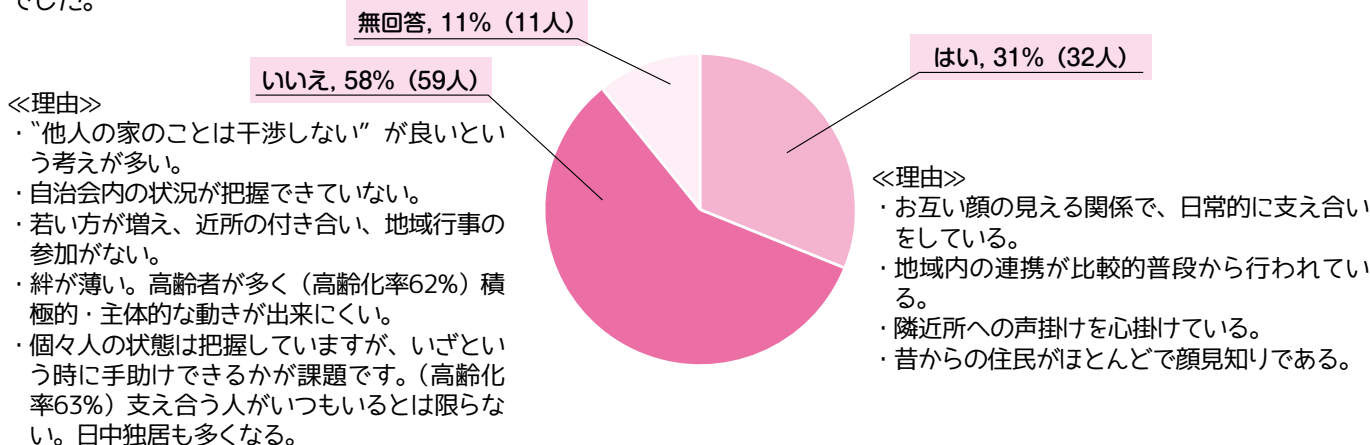
益田市ボランティアセンター (益田市社会福祉協議会)
益田市須子町3-1 TEL: 23-6954 FAX: 23-4177



近所福祉のあれこれ！ vol.6

支え合いマップづくりで 災害時にも強い地域づくり

前号で『支え合いマップづくりで災害時にも強い地域づくり』をテーマに研修会を開催したことを掲載しました。研修会の最後にアンケートを行い、『あなたの地域は災害に強い地域だと思いますか』と聞いたところ、結果は以下のとおりでした。



他にも地理的状況が災害に強い弱い理由としてあげられていますが、上記の内容からは『地域の繋がり』が一つのポイントとして見えてきます。研修会は94%（96人）が参考になったとアンケートで答えています（残り6%は無回答）。次回は支え合いマップづくりを活用して、災害に強い地域づくりについて研修会の内容を交えて説明します。

サロン交流会 ～介護予防と健康づくり～

去る11月11日（土）、介護予防の大切さを学ぶとともに、サロン間の交流の場として『介護予防研修並びにふれあい・いきいきサロン交流会』を昨年に引き続き開催しました。当日は、32のサロン（総勢92名）が参加しました。

講演では、岡山県津山市役所・健康増進課の安本勝博氏を講師に迎え、『介護予防からはじまる地域づくり』と題してお話いただきました。また、サロン活動紹介では、『サロン笑はっは』の世話人である吉本美代子さんからサロン立ち上げの苦労話や楽しく活動するための工夫などをお話いただきました。休憩時間には、参加者全員で『益ます元気体操』を行いリフレッシュし、その後のグループワークでは、それぞれのサロンの活動内容や、抱えている課題などを共有しながらサロン間の交流を深めました。

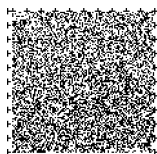


安本勝博氏の講演の様子

ふれあい福祉相談のご案内 1月・2月の相談日

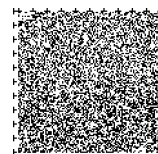
相談	開催日	時間	場所
無料法律相談	1月12日・2月9日（金）	13:00～15:00	益田市総合福祉センター
ふれあい福祉相談	1月12日・2月9日（金）	10:00～15:00	
老人母子相談	1月12・26日（金） 2月9・23日（金）	10:00～15:00	

『どこに相談したらいいの?』という、家庭内外のトラブルや心配ごと等、ふれあい福祉相談をご利用ください！ 広く日常生活上の相談をお受けしています。



お問い合わせ
ご予約

益田市社会福祉協議会（益田市須子町3-1）
TEL：22-7256（月～金 8：30～17：30）



善意の輪 (平成 29 年 10 月 1 日～ 11 月 30 日)

敬称略

ご寄附ありがとうございます。
地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、活用させていただきます。

【香典返し】		
松永治郎一	飯浦町	金一封
(故) 城市 良三	東町	50,000円
(故) 篠原 泰二	横田町	金一封
檜谷 秀樹	下種町	金一封
(故) 脇 知	西平原町	金一封
(故) 吉村美代子	中島町	金一封
(故) 松崎 正幸	下本郷町	金一封
(故) 尾木 弘子	須子町	金一封
(故) 齋藤 弘	木部町	金一封
庄野 謙介	飯浦町	金一封
渋谷 憲朗	飯田町	金一封
(故) 中島 操	須子町	金一封

【香典返し】		
(故) 和崎 貞一	須子町	金一封
(故) 宅野 由祐	高津二丁目	金一封
(故) 植田 妙心	中須町	金一封
三浦 敬司	中吉田町	金一封
桐田 直三	小浜町	金一封
田原 芳文	大草町	金一封
(故) 石橋 浩	黒周町	金一封
坂原 里美	匹見町匹見	金一封
(故) 中谷 雀子	匹見町澄川	金一封
(故) 三浦 宣子	匹見町匹見	金一封
(故) 杉迫 豊	匹見町紙祖	金一封
平谷 亘子	匹見町石谷	金一封

【香典返し】		
大石 伸行	浜田市長沢町	金一封
【見舞返し】		
野村 長典	木部町	金一封
小川 定信	匹見町紙祖	金一封
(故) 杉迫 豊	匹見町紙祖	金一封
【一般寄付】		
大賀 豊年	市原町	金一封
寺戸 尋子	美都町仙道	金一封

3つの愛言葉『安心』『声かけ』『思いやり』
(桂平小学校 出前福祉講座・学習発表会)



『世界を愛で一杯にすること』が使命の ユーアイレンジャー



疑似体験の様子



車いす体験の様子

10月5日・12日の2日間、桂平小学校の3・4年生を対象に『福祉出前講座』を開催しました。

専用の疑似体験セットを着用し、高齢者や障がい者の身体の体験や、車椅子体験を行いました。どのように言葉かけをするとよいか、どんなことに気をつけるとよいかなどを学びました。

そして、11月12日の学習発表会で、福祉出前講座で学んだこと等を劇にして、保護者や地域の方へ伝えました。

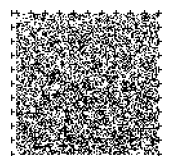
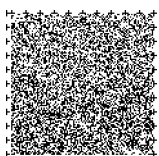
劇では、子どもたちがユーアイレンジャー等に扮して、<<どんなときにも、どんな人にも『安心・声かけ・思いやり』の3つの合言葉=愛の言葉”を大切にすれば、世界中の人が笑顔になり幸せにできる>>ということを元気に発表しました。

この“3つの合言葉=愛の言葉”を大切に、これからもたくさんの人達を笑顔にしてくれることを願っています。

社協だより 11月号 (No. 238) におけるお詫びと訂正

次の通り誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

OP6 はつらつ介護ふれあいサービス事業
(誤) 三原愛子先生 (正) 美原愛子先生



災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (10月28日)



ボランティア受付の様子



土のう作りの様子

益田市水防センター(中須町)にて、『益田市防災訓練』が開かれ、益田市社会福祉協議会では災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を行いました。

災害ボランティアセンターは、災害時、住民の生活の復興を支援するために設置されます。今回の訓練では、迅速かつ的確にボランティア調整を行うとともに、ボランティア役の方々には、防災訓練の中で行われる『土のう作り・積み訓練』『炊き出し訓練』に参加していただき、センターの役割や運営について理解を深めていただきました。改めて訓練の大切さなどを参加者とともに再確認しました。

今後もこのような訓練を、皆様のご協力のもと行っていきたいと思います。当日ご参加いただきましたボランティア役の皆様、雨の中にもかかわらずご協力いただきありがとうございました。

平成29年度 美都地域戦没者追悼式を開催 (11月17日)

ふれあいホールみと(美都町都茂)で、市役所美都総合支所、社会福祉協議会美都支所合同主催による美都地域戦没者追悼式を行いました。ご遺族・来賓30名により式典が実施され、戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を願って献花を行いました。

式典終了後、東仙道小学校、都茂小学校、美都中学校の児童・生徒ら53名も一緒に、益田市遺族会美都支部長の河野勝美さんからの戦争体験談を聞きました。

戦争の悲惨さや愚かさ、平和の尊さを改めて感じ、『二度と戦争をしてはならない』という思いを強くしました。



河野さんの戦争体験談に聞き入る参列者

『市民後見人』は福祉の<<新>>担い手!



市民後見人養成講座の様子

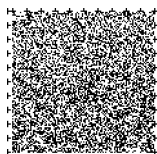
認知症高齢者など判断能力が不十分な方の権利を守るのが『成年後見制度』です。後見人には親族の他、弁護士や司法書士、社会福祉士といった専門職が携わっていますが、新たな担い手として『市民後見人』が注目されています。

『市民後見人』は専門家ではありませんが、支援を必要とする人の意思を尊重し、同じ感覚、同じ目線で支援できる強みがあります。益田市社会福祉協議会では平成27・28年度に養成講座を開催、35名の方が『市民後見人登録バンク』に名を連ね、年数回のスキルアップ研修を受けています。このほど登録バンクの中から第1号の『法人後見支援員』が誕生しました。

来年度以降も養成講座を開催する予定です。皆様も益田の地域福祉推進のため、ぜひ参加してみたいはかがでしょうか。



法人後見支援員第1号の永田千秋さん
「成年被後見人が安心して過ごせるよう、思いに寄り添った支援をしていきます。」



発行: 社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 TEL: 698-0036 益田市須子町3-1
編集: 益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
「はぁーてい」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

